

# デッサン I

---



私は「黒だけで感情や色を表現する」という言葉をこのポートフォリオの題材にしています。そこで始めに、思ったのはデッサンでした。

陶器の白いコップとティッシュペーパーを組み合わせ描いたこのデッサンは、「紙は世界の窓であり、紙の中には空間が広がっている」ということを意識して描きました。手前は強調して、奥は少し優しく線をひくことで空間を演出出来たのではないかと思います。

他にも、陶器のコップの写り混みや、コップの滑らかさ・固さとティッシュペーパーの柔らかさ・もけもけ感などの対比にも力を入れて描きました。

使用した画材:鉛筆

所要時間:2時間

# デッサンⅡ

---



このデッサンは「デッサンⅠ」で学んだことを踏まえてより空間を意識して描きました。まず、長さがあるものを斜めに配置することによって、分かりやすく遠近を演出しました。それだけでなく、木槌を使うことで木目によりより顕著に空間を認識出来るように工夫しました。

他にも、「デッサンⅠ」の明確な固さと柔らかさの演出とは異なり、木の暖かみと柔らかさ タオル地の優しい雰囲気とふわふわ感という少し似た雰囲気のけれども確かに違うモチーフを描き分けることに注力しました。

使用した画材：鉛筆

所要時間：11時間30分

# 恐怖の表現



これは先程のデッサンで身につけた鉛筆のタッチや描写力で恐怖を演出しました。

私にとって歯医者とは恐怖の対象で、ドリルの音が特に怖いです。それを表現するために、イラスト調にデフォルトした私が口のなかにおり、そこからデッサンで描いた歯医者さんがドリルなどの機械を手に覗き込んでいる。と、いう作品を描きました。少女はイラスト調で、歯医者さんはデッサン調にしたのはより、歯医者さんへの恐怖感を煽るためです。より緻密に、より精巧に線を加えることで一度見たらしばらくは忘れられないインパクトと恐怖感を見る人に対して植え付けることができていると確信しています。そして、歯にはあえて色をつけないことで体の中と外との境界を表しています。

使用した画材: ネームペン 鉛筆

所要時間: 12時間